

令和6年度総会議事資料

令和6年8月28日

センシング技術応用研究会

令和6年度総会次第

日 時 令和6年8月28日（水）

午後1時00分～1時30分

場 所 堺市産業振興センター

1 開 会

2 議 長 選 出

3 議 長 挨 拶

4 議 案 審 議

(1) 第1号議案 令和5年度事業報告(案)

(2) 第2号議案 令和5年度収支決算報告(案)

(3) 第3号議案 令和6年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)

(4) 第4号議案 令和6年度役員改選(案)

(5) 第5号議案 会則変更 (案)

(6) その他

5 閉 会

第1号議案：令和5年度事業報告(案)

(敬称略)

1. 総会

[第47回総会]

- 開催日 令和5年9月5日(火)
会場 大阪産業創造館 研修室A・B
出席者 51名(委任状による出席者数20)
内容
(1) 令和4年度事業報告承認
(2) 令和4年度収支決算報告承認
(3) 令和5年度事業計画ならびに収支予算承認
(4) 役員改選

2. 研究例会

[第224回例会]

- 開催日 令和5年9月5日(火)
会場 大阪産業創造館 研修室A・B
参加者 35名
内容
(1) 講演
情報化時代のセンシング技術 -センシング技術の発展に向けて何をすべきか-
センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司
(2) 講演
IoT気象センサ開発ストーリー
オムロン株式会社 デバイス&モジュールソリューションズカンパニー
新規事業推進部 部長 岡 孝則
モジュール開発部 プロジェクトリーダー 小島 英明

[第225回例会] (次世代センサ協議会と共催)

- 開催日 令和5年11月20日(月)
会場 堺市産業振興センター セミナー室2
参加者 84名
内容
(1) 講演
SIPフィジカル第2期成果である「エッジプラットフォーム」のご紹介
(株)デバイス&システム・プラットフォーム開発センター 取締役 岡山 義光
(2) 講演
物理現象を計算資源として利用するエッジAIデバイスの展望
大阪公立大学大学院 工学研究科・電子物理工学分野 准教授 吉村 武
(3) 講演
器用なロボットのための超小形触覚センサとそのAIによる認識技術
立命館大学 情報理工学部 教授 野間 春生
立命館大学 情報理工学部 坪倉 奏太

[第226回例会]

- 開催日 令和6年3月1日(金)
会場 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス B5棟 1B-33講義室
参加者 47名
内容
(1) 講演
疾病の早期診断を志向したナノインプリント光学センサの開発
大阪公立大学大学院 工学研究科 准教授 遠藤 達郎

(2) 一講 演一

デジタルヘルスからウェルビーイングへ

大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授 大城 理

(3) 一講 演一

非接触で集中度など人の感情を推定するセンサの開発ストーリーと量産実用化

三菱電機株式会社 リビング・デジタルメディア事業本部 静岡製作所
ルームエアコン製造部 先行開発グループ 専任 森岡 怜司

[第227回例会] (ニューセラミックス懇話会と合同)

開催日 令和6年4月24日(水)

会場 大阪産業創造館 会議室E

参加者 47名

内容

(1) 一講 演一

耐苛酷環境材料としてのセラミックス基複合材料 (CMC)

東京工業大学 科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所
准教授 吉田 克己

(2) 一講 演一

単結晶ナノキューブが拓く新しいセラミックス技術

国研) 産業技術総合研究所 極限機能材料研究部門 蓄電材料グループ
主任研究員 三村 憲一

3. グリーンシステム技術分科会

[第17回分科会]

開催日 令和5年7月21日(金)

会場 堺市産業振興センター セミナー室2

参加者 15名

内容

GST分科会会長 挨拶

大阪公立大学大学院 工学研究科 電子・数物系専攻 電子物理工学分野
准教授 吉村 武

(1) 一講 演一

Transducers報告

大阪公立大学大学院 工学研究科 電子・数物系専攻 電子物理工学分野
准教授 吉村 武

(2) 一製品紹介一 ※オンライン講演

革新的転送技術を用いた省電力メッシュNW型無線UNISONet

ソナス株式会社 Business Division コンセプトリード 滝澤 慎也

(3) 一講 演一 ※オンライン講演

熱計測技術とサーマルリザバーコンピューティング技術の融合による熱マネジメント

京都大学大学院 工学研究科 ナノ・マイクロシステム工学 准教授 廣谷 潤

(4) 一講 演一

「廃熱は資源！」学生との対話から生まれた研究

関西学院大学大学院 理工学研究科 教授 田中 裕久

4. センシング技術応用セミナー

[2024センシング技術応用セミナー]

テーマ 医療・ヘルスケア・生体計測分野における最新技術

開催日 令和6年6月10日(月)

会場 大阪産業創造館 研修室A・B

参加者 47名

内容

(1) 一講 演一

微細加工技術を用いた医療機器・ヘルスケア機器の開発と展望 ※オンライン講演
東北大学大学院医工学研究科 医工学専攻 ナノデバイス医工学分野
(兼)大学院工学研究科 ロボティクス専攻 教授 芳賀 洋一

(2)一講 演一

眼と手の行動センシングから見えてくる心の中のプロセス ※オンライン講演
東北大学大学院情報科学研究科 応用情報科学専攻 教授 松宮 一道

--- 昼休み ---

(3)一講 演一

体表面における生体情報の計測と応用
神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 准教授 和泉 慎太郎

(4)一講 演一

骨に関わる超音波技術
同志社大学 理工学部 電気工学科 教授 松川 真美

(5)一講 演一

超音波技術を用いた膵癌治療への挑戦
ソニア・セラピューティクス株式会社 取締役兼COO 岡本 淳

5. 理事会、幹事会等

第47回理事会

開催日 令和5年7月21日(金)
会場 堺市産業振興センター セミナー室2
参加者 27名(理事講演会34名)
—理事講演会—

(1) MEMS センサとハーベスタ

兵庫県立大学大学院 工学研究科 電気系工学専攻 教授 前中 一介

(2) 試作・研究開発のパートナーとしての組み込み、画像処理、IoT/ICT システム開発

梅田電機株式会社 代表取締役社長 高瀬 直寿

第268回幹事会 令和5年7月21日(金) 堺市産業振興センター セミナー室2
第269回幹事会 令和5年9月5日(火) 大阪産業創造館 研修室A・B
第270回幹事会 令和5年11月20日(月) 堺市産業振興センター セミナー室2
第271回幹事会 令和6年3月1日(金) 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス B棟 1B-33 講義室
第272回幹事会 令和6年4月24日(水) 大阪産業創造館 会議室C

6. 他団体との共催・協賛

○シンポジウム：2件

第5回 使えるセンサ・シンポジウム2023

開催日 令和5年7月19日(水)～20日(木)
会場 マイドームおおさか
主催 (一社)センサイト協議会 使えるセンサ・シンポジウム実行委員会
協賛 当研究会、(一社)次世代センサ協議会

第40回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

開催日 令和5年11月6日(月)～9日(水)
会場 熊本城ホール
主催 (一社)電気学会 センサ・マイクロマシン部門
協賛 当研究会他20学協会

○セミナー：4件

2023年KECセミナー

開催日 令和5年7月7日(金)
会場 オンライン開催
主催 (一社)KEC関西電子工業振興センター
協賛 当研究会他8学協会

第82回次世代センサ・セミナシリーズ

開催日 令和5年9月22日(金) 9月27日(水)～10月11日(水)動画配信
会場 オンライン開催
主催 (一社)次世代センサ協議会
協賛 当研究会他9学協会

月例研究会Chat-GPT入門セミナー

開催日 令和5年12月5日(火)
会場 大阪産業技術研究所 和泉センター
主催 (一社)大阪府技術協会
後援 当研究会他3学協会

第49回ニューセラミックスセミナー

開催日 令和6年3月4日(月)
会場 大阪産業創造館
主催 ニューセラミックス懇話会
協賛 当研究会他22学協会

○フォーラム：3件

第40回センシングフォーラム計測部門大会～新たな地平を切り開くセンシング～

開催日 令和5年8月31日(木)～9月1日(金)
会場 高知工科大学 永国寺キャンパス
主催 (公社)計測自動制御学会
協賛 当研究会他16学協会

第27回KECテクノフォーラム

開催日 令和6年1月16日(火)
会場 オンライン開催
主催 (一社)KEC関西電子工業振興センター
協賛 当研究会

第4回SENSPIREフォーラム

開催日 令和6年2月22日(木)
会場 オンライン開催
主催 次世代センサ協議会
共催 当研究会

○講演会：2件

第66回自動制御連合講演会

開催日 令和5年10月7日(土)～8日(日)
会場 東北大学 川内キャンパス
主催 (公社)計測自動制御学会
協賛 当研究会他52学協会

第22回低温工学・超伝導若手合同講演会

開催日 令和5年11月24日(金)
会場 関西学院大学 大阪梅田キャンパス
主催 (公社)低温工学・超伝導学会 関西支部
協賛 当研究会他2学協会

○講習会：3件

第12回センサ技術基礎講座「知っておきたいセンサ技術の基礎」

開催日 令和5年8月21日(月)～令和5年9月22日(金)
会場 オンデマンド配信

主 催 (一社)次世代センサ協議会
協 賛 当研究会他10学協会
第15回「役に立つ真空技術入門講座」
開催日 令和5年9月28日(木)～9月29日(金)
会 場 大阪公立大学 文化交流センター
主 催 (公社)日本表面真空学会関西支部
協 賛 当研究会他23学協会

第59回真空技術基礎講習会
開催日 令和6年5月28日(火)～31日(金)
会 場 大阪産業技術研究所 和泉センター
主 催 (公社)日本表面真空学会
協 賛 当研究会他24学協会

○ワークショップ：2件

ViEW2023ビジョン技術の実利用ワークショップ
開催日 令和5年12月7日(木)～8日(金)
会 場 オンライン開催
主 催 (公社)精密工学会 画像応用技術専門委員会
協 賛 当研究会他9学協会

動的画像処理実利用化ワークショップ DIA2024

開催日 令和6年3月4日(月)～5日(火)
会 場 別府国際コンベンションセンター (ビーコンプラザ)
主 催 (公社)精密工学会 画像応用技術専門委員会
協 賛 当研究会他9学協会

○展示会：1件

センサエキスポジャパン2023
開催日 令和5年9月13日(水)～15日(金)
会 場 東京ビッグサイト (東京国際会議場) 東ホール
主 催 産経新聞社
特別協賛 (一社)次世代センサ協議会
特別協力 当研究会、(一社)電気学会
内 容 センシング技術応用研究会のポスター展示

第2号議案：令和5年度収支決算報告(案)

1. 一般会計

収入の部

自 令和5年7月1日
至 令和6年6月30日
(単位 円)

科目	令和5年度予算	実績	摘要
会費収入 ¹⁾	1,131,000	1,294,000	会費収入 団体会費収入 1,080,000 (令和5年度分) 30,000×36社=1,080,000 個人会費収入 150,000 (令和4年度分) 3,000×1名=3,000 (令和5年度分) 3,000×48名=144,000 (令和6年度分) 3,000×1名=3,000 交流会参加費収入 交流会参加費(@4,000×16名) 64,000
事業収入	200,000	295,000	2024セミナー参加費
雑収入	10	67,149	銀行預金利息 9 例会参加費 64,000 例会資料販売 3,140
繰越金	860,088	860,088	前年度一般会計より
計	2,191,098	2,516,237	

1)会費収入は、団体会費と個人会費の年会費の他に交流会参加費を含める。
紙の研究例会資料の郵送を中止し、PDFファイルの送付とする。
なお、紙の研究例会資料の郵送を希望される会員には、郵送費用として年間2,500円の負担により紙の研究例会資料の郵送を行う。

支出の部

自 令和5年7月1日
至 令和6年6月30日
(単位 円)

科目	令和5年度予算	実績	摘要
講師料	160,000	220,490	講師謝礼 135,990 講師交通費 84,500
印刷費	15,000	14,688	トナー、コピー用紙
通信費	15,000	21,185	講師依頼、会費請求書郵送代 9,444 HP ドメイン、サーバー利用料 11,741 (3年分)
会議費	210,000	247,871	会場設営費 50,292 会議準備費 117,579 交流会費 80,000
事業費	200,000	177,580	2024 セミナー 177,580
事務局費	909,000	901,240	事務局人件費 801,410 備品消耗品費等 6,518 行政財産使用料 83,522 Teams 利用料 9,790
予備費 ¹⁾	682,098	0	
次年度繰越金 ²⁾		933,183	
	2,191,098	2,516,237	

1) 予備費は収入減、支出超過に備えるとともに、次年度繰越金への支出を予定している。

2) 次年度繰越金は、令和6年度のセンシング技術応用研究会の活動資金に充てる。

センシング技術応用研究会の会費は総会終了後以降に請求し、その後に納入される。

会費が入るまでの令和6年7月から11月までのセンシング技術応用研究会の活動資金は繰越金により賄われる。

2. 特別会計（特別積立金）*

収入の部

自 令和5年7月1日
至 令和6年6月30日
(単位 円)

科 目	令和5年度予算	実 績	摘 要
一般会計からの 繰入金収入	0	0	
雑収入	10	8	銀行預金利息
前年度繰越金	812,918	812,918	
計	812,928	812,926	

支出の部

自 令和5年7月1日
至 令和6年6月30日
(単位 円)

科 目	令和5年度予算	実 績	摘 要
一般会計からの 繰入金支出	0	0	
予備費	812,928	812,926	
計	812,928	812,926	

*特別会計（特別積立金）は、緊急時に対応するためと特別事業の積立である。

センシング技術応用研究会

令和5年度会計監査証明書

令和5年度一般会計及び特別会計の収支決算書、財産目録は帳簿および証憑書類によって監査した結果、正確であることを証明します。

令和6年7月23日

監 事 株式会社岡野製作所

岡 野 忠 弘



日本リニアックス株式会社

松 元 光 輝



第3号議案：令和6年度事業計画(案)ならびに収支予算(案) (敬称略)

令和6年度事業計画(案)

1. 総会

[第48回総会]

開催日 令和6年8月28日(水)

会場 堺市産業振興センター セミナー室1

2. 研究例会

[第228回例会]

開催日 令和6年8月28日(水)

会場 堺市産業振興センター セミナー室1

内容

(1)一講演一

AIの現在と未来

京都橘大学 工学部 情報工学科 教授 松原 仁

(2)一講演一

データ駆動が導く材料研究・開発・生産のパラダイム変革

奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センター
センター長/特任教授 船津 公人

[第229回例会] (次世代センサ協議会と合同)

開催日 令和6年11月頃予定

[第230回例会]

開催日 令和7年1~2月頃予定

[第231回例会] (ニューセラミックス懇話会と合同)

開催日 令和7年4月頃予定

3. エッジデバイス・システム技術分科会

[第1回分科会]

開催日 令和6年7月23日(火)

会場 堺市産業振興センター 4階 セミナー室1

内容

EST分科会会長 挨拶

大阪公立大学大学院 工学研究科 電子・数物系専攻 電子物理工学分野
准教授 吉村 武

(1)一講演一

エレクトレットMEMSエネルギーハーベスタと応用

神戸大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 准教授 本間 浩章

(2)一講演一

生物の神経回路に学ぶ省エネ IoT 技術

九州大学大学院 システム情報科学研究院 情報エレクトロニクス部門
准教授 矢嶋 起彬

(3)一製品紹介一

Seeed 製品でアイデアを素早く形に

Seeed株式会社 中井 真大

[第2回分科会]

開催日 未定

4. 2025センシング技術応用セミナー

開催日 未定

5. 理事会・幹事会等

第48回理事会

開催日 令和6年7月23日(火)

会場 堺市産業振興センター 4階 セミナー室1

—理事講演会—

(1) 生命科学応用に向けたホログラフィック顕微鏡と3次元散乱蛍光イメージング

神戸大学 次世代光散乱イメージング科学研究センター 教授 的場 修

(2) 配電分野におけるセンシング技術の活用について

株式会社ダイヘン 配電システム事業部 技術部長 中川 大輔

第273回幹事会 令和6年7月23日(火) 堺市産業振興センター

第274回幹事会 令和6年8月28日(水) 堺市産業振興センター

第275回幹事会 令和6年11月

第276回幹事会 令和7年1月～2月

第277回幹事会 令和7年4月

令和6年度収支予算(案)

1. 一般会計

収入の部

自 令和6年7月1日
至 令和7年6月30日
(単位 円)

科目	令和6年度予算	摘要
会費収入 ¹⁾	1,254,000	令和6年度会費収入分 団体会員 30,000 × 37 = 1,110,000 個人会員 3,000 × 48 = 144,000
事業収入	200,000	2025 セミナー
特別会計からの繰入金収入 ²⁾	0	
雑収入	10	銀行預金利息等
繰越金	933,183	前年度一般会計より
計	2,387,193	

- 1) 会費収入は、団体会費と個人会費の年会費である。
紙の研究例会資料の郵送を中止し、PDF ファイルの送付とする。
なお、紙の研究例会資料の郵送を希望される会員には、郵送費用として年間 2,500 円の負担により、紙の研究例会資料の郵送を行う。
- 2) センシング技術応用研究会の一般会計に充てる資金が不足した場合、特別会計より繰り入れる資金である。

支出の部

自 令和6年7月1日
至 令和7年6月30日
(単位 円)

科 目	令和6年度予算	摘 要
講師料	200,000	講師謝礼 (15,000×8人) 120,000 交通費 80,000
印刷費	15,000	トナー、用紙、パンフレット印刷等 (当日配布用 例会、総会資料作成)
通信費	27,000	講師依頼、会費請求書郵送 15,000 Teams 利用料 12,000
会議費	210,000	会場設営費 90,000 会議準備費等 120,000
事業費	200,000	2025 セミナー
事務局費	945,000	事務局人件費 820,000 備品消耗品費 40,000 行政財産使用料 85,000
予備費*	790,193	
計	2,387,193	

*予備費は収入減、支出超過に備えるとともに、次年度繰越金への支出を予定している。
センシング技術応用研究会の会費は総会終了後以降に請求し、その後に納入される。
会費が入るまでのセンシング技術応用研究会の活動資金となる。

2. 特別会計（特別積立金）*

収入の部

自 令和6年7月1日
至 令和7年6月30日
(単位 円)

科目	令和6年度予算	摘要
一般会計から	0	
雑収入	8	銀行預金利息
前年度繰越金	812,926	
計	812,934	

支出の部

自 令和6年7月1日
至 令和7年6月30日
(単位 円)

科目	令和6年度予算	摘要
一般会計から	0	
予備費	812,934	
計	812,934	

*特別会計（特別積立金）は、緊急時に対応するためと特別事業の積立である。

第4号議案：令和6年度役員改選（案）

（五十音順）（変更）（敬称略）

名誉会長	奥山雅則	（大阪大学）
会長	筒井博司	（元大阪工業大学）
副会長	井原正博	（㈱島津製作所）
	木股雅章	（元立命館大学）
	小林哲彦	（(地独)大阪産業技術研究所）
顧問	岡本隆之	（大阪府商工労働部）
	黒木啓良	（経済産業省近畿経済産業局）
	西野種夫	（神戸大学名誉教授）
	山下牧	（元オムロン㈱）
	吉田多見男	（京都工芸繊維大学）
理事	小川倉一	（小川創造技術研究所）
	末利良一	（古野電気㈱）
	高瀬直寿	（梅田電機㈱）
	長永隆志	（三菱電機㈱）
	内藤裕義	（大阪公立大学）
	中川大輔	（㈱ダイヘン）
	中田嘉昭	（㈱堀場エステック）
	西上佳典	（新コスモス電機㈱）
	野田実	（関西大学）
	初田雅弘	（ニッタ㈱）
	藤田孝之	（兵庫県立大学）
	前中一介	（兵庫県立大学）
	的場修	（神戸大学）
	吉村武	（大阪公立大学）
監事	岡野忠弘	（(株)岡野製作所）
	松元光輝	（日本リニアックス㈱）
幹事	宇野真由美	（(地独)大阪産業技術研究所）
	栗山敏秀	（マロン技研）
	古賀裕介	（㈱島津製作所）
	小西博文	（三菱電機㈱）
	佐藤武司	（新コスモス電機㈱）
	田中恒久	（(地独)大阪産業技術研究所）
	土居元紀	（大阪電気通信大学）
	中野慎	（パナソニック㈱）
	中本裕之	（神戸大学）
	布目淳	（京都工芸繊維大学）
	野間春生	（立命館大学）
	橋本和彦	（近畿大学）
	飛龍志津子	（同志社大学）
	藤田嘉美	（藤田技術士事務所）
	村上修一	（(地独)大阪産業技術研究所）
	森口誠	（(一社)センサイト協議会）

安田 雅 昭 (大阪公立大学)
山根 秀 勝 ((地独)大阪産業技術研究所)
吉元 俊 輔 (大阪大学)
吉村 武 (大阪公立大学)
李 相 錫 (鳥取大学)

会員数の推移

	2017.6	2018.6	2019.6	2020.6	2021.6	2022.6	2023.6	2024.6
団体会員	44	42	40	36	35	36	36	36
個人会員	65	63	63	62	62	62	61	62
会員総数	109	105	103	98	97	98	97	98

第5号議案：会則変更（案）

1. 本会はセンシング技術応用研究会(英語：The Society of Sensing Technology of Japan)と称する。
2. 本会はセンサ・トランスデューサの開発と新しい応用に関するセンシング技術の向上普及を図り各種産業における新技術の発展に貢献することを目的とする。
3. 本会は前条の目的を達成するために研究例会、講演会、講習会等を開催して次の事業を行う。
 - イ 学術、技術に関する研究報告と紹介
 - ロ 現場提起の技術懇談
 - ハ 技術情報の収集と交換
 - ニ 内外の学協会との協力及び連携
 - ホ 会員の相互親睦その他の必要な事業
- 3-2. 研究例会は原則として年4回以上開催するものとする。また上記事業を推進するため特定テーマに関する開発プロジェクト分科会を設けることができる。
4. 本会の事務所は地方独立行政法人大阪産業技術研究所内に置く。
5. 会員は本会の目的に賛同し本会の維持と発展に協力する団体または個人とする。但し個人会員は原則として大学、国公立研究所などに属する個人及び理事会で承認された個人、またはこれに準ずる者で会長が承認した個人とする。
6. 会費は次のとおりとする。
 - イ 団体会費は一口 年額30,000円とし、前納を原則とする。
 - ロ 個人会費は年額3,000円とし、前納を原則とする。
7. 本会への入会または退会は申し出により理事会会長の承認を得るものこととし、退会はその旨申し出ることとする。
 - 7-2. 会員が次に該当するときは、退会したものとみなす。
 - イ. 死亡したとき。
 - ロ. 法人が解散したとき。
 - ハ. 会費を納入せず、督促後なお会費を1年以上納入しないとき。
8. 本会は次の役員を置く。
 - イ 会長 1名
 - ロ 副会長 3名程度
 - ハ 理事 若干名
 - ニ 幹事 若干名
 - ホ 監事 2名
 - ヘ 顧問 若干名
9. 本会は名誉会長を置くことができる。
10. 役員任期は2年とする。ただし再任は妨げない。
11. 役員職務は次の通りとする。
 - イ 会長は本会を代表し、会務を総理するとともに会議の招集、司会する。
 - ロ 副会長は会長を補佐し、会長の職務の一部を代行することができる。
 - ハ 理事は本会の活動について把握し、理事会に出席し、運営・活動方針について審議する。
 - ニ 幹事は本会の活動について企画すると共に運営についての実務を処理する。
 - ホ 監事は会計を監査する。

12. 本会は会員をもって構成する総会を行う。総会は会員の過半数（委任状や電子媒体による委任を含む）をもって成立する。
- 12-2. 総会は次の2種類とする。
- イ 定期総会 毎年度終了後の3ヶ月以内に1回行う。
 - ロ 臨時総会 会長が必要と認めたととき行うことができる。
- 12-3. 理事会は会長、副会長、理事から構成され、構成員の過半数の出席（委任状や電子媒体による委任を含む）をもって成立し、年1回以上行うものとする。
13. 次の事項は総会において出席者の過半数の承認を得なければならない。
- イ 会則の変更 ロ 事業計画 ハ 事業報告
 - ニ 収支決算報告 ホ 役員を選任 ヘ その他の必要な事項
- 13-2. 任期途中における役員（幹事を除く）の交代は理事会の承認を得て行うことができる。
- 13-3. 幹事は会長の指名により選任する。
14. 時代の変化に伴う重要な課題調査のため、分科会を設置することができる。
15. 本会則は、昭和52年8月9日より施行する。

附則

1. 会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。
2. 昭和63年7月26日改定
3. 平成元年7月18日改定
4. 平成19年9月11日改定
5. 平成20年1月23日改定
6. 令和6年X月XX日改定

改定前会則	改定后会則（案）	改定の理由
1. 本会はセンシング技術応用研究会と称する。	1. 本会はセンシング技術応用研究会(英語：The Society of Sensing Technology of Japan)と称する。	英語表記を正式に会則に入れる。
4. 本会の事務所は大阪府立産業技術総合研究所内(社)大阪府技術協会に置く。	4. 本会の事務所は地方独立行政法人大阪産業技術研究所内に置く。	組織変更に伴う修正。
5. 会員は本会の目的に賛同し本会の維持と発展に協力する団体協力する団体または個人とする。但し個人会員は原則として大学、国公立研究及び理事会で承認された個人とする。	5. 会員は本会の目的に賛同し本会の維持と発展に協力する団体または個人とする。但し個人会員は原則として大学、国公立研究所などに属する個人、またはこれに準ずる者で会長が承認した個人とする。	企業経営の多様化1) および個人の働き方の多様化 2) に伴い、柔軟な会員資格の判断を行なうため。
7. 本会への入会または退会は申し出により理事会の承認を得るものとする。	7. 本会への入会は申し出により会長の承認を得ることとし、退会はその旨申し出ることとする。 7-2. 会員が次に該当するときは、退会したものとみなす。 イ. 死亡したとき。ロ. 法人が解散したとき。 ハ. 会費を納入せず、督促後なお会費を1年以上納入しないとき。	入退会に関し、入会は会長による承認を必要とし、退会は申し出のみで迅速に行えるようにするため。
12-3. 理事会は年1回以上行う。		理事会の位置づけを明確にし、理事会承認をメール審議等でスムーズに審議できるようにする必要がある。
13-2. 任期中中における役員の交代は理事会により行うことができる。また、幹事は会長の指名により選任する。	13-2. 任期中中における役員（幹事を除く）の交代は理事会の承認を得て行うことができる。 13-3. 幹事は会長の指名により選任する。”	時代の変化や組織の変更に臨機応変に対応するため。
	14. 時代の変化に伴う重要な課題調査のため、分科会を設置することができる。	会則で分科会の位置づけを明確にする。

補足：1) 企業経営の多様化とは、企業のホールディング制または分社化のように、同一企業内でも経営主体が異なる組織の集合体を形成している。このような組織の場合、団体会員は経営主体ごとの団体会員とする。2) 定年退職後の再雇用、非常勤、非正規雇用等の働き方の多様化に対し、個人会員資格の判断を柔軟に対応する。

センシング技術応用研究会

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所内
TEL:0725-51-2534 FAX:0725-51-2597

E-mail : sstj@sensing-tech.org

URL : <https://sensing-tech.org/>